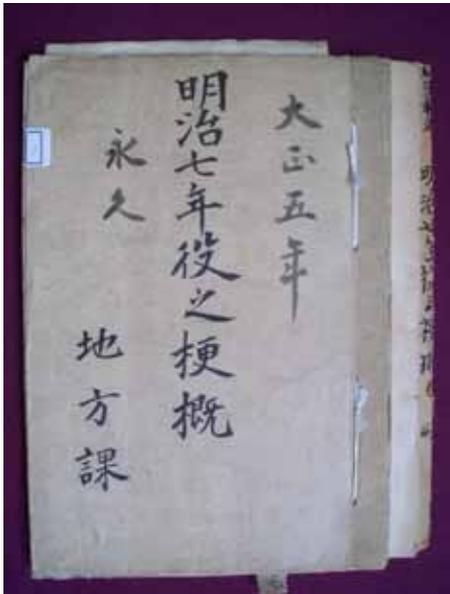


明治七年役之梗概（「佐賀の役」概要 大正5年）



地方課所管の永久文書で、中表紙は和紙に「七年役之梗概」となっています。本文は原稿用紙（中学校作文用紙・400字詰）72枚、図面（官軍進撃略図）1枚に毛筆で書かれています。

内容は、明治7年に江藤新平、島義勇らが決起した「佐賀の役」に関する概要の記録で、

第1項から13項

「征韓論」と、佐賀における征韓党・憂国党・中立党それぞれの主張、開戦に至るまでの東京及び佐賀の情勢。

第14項から21項

鎮台兵の佐賀城入場とその陣容。征韓党・憂国党の陣容、中立党の動向、佐賀城の攻防。

第22項から33項

政府軍の進発と作戦計画。朝日山・江見・田手・三瀬口での戦闘状況から佐賀軍降伏までの両軍の様子。

第34項から37項



(佐賀県逆動記聞 - 錦絵 県立博物館蔵)